バックアップの注意点　（5）

2022/06/22

-------- データのバックアップ---------

毎日同じ時間に同じところにバックアップをとるだけではいけません。

Accessのデータベースは破損することがあります。

破損したことに気が付かずに、前日のバックアップに上書きしたらどうなるでしょう。

地震や火事で、その部屋のパソコンやバックアップ装置が破損したらどうしますか

私の提案は、クラウドに31日分のフォルダーを用意し、そのフォルダーに、1時間おきの10フォルダーを用意し、そこにバックアップします

1ヶ月の間に、毎日1時間ごとに、別々のフォルダーにバックアップするのです

1か月で最大310フォルダーに順にバックアップをするのです。

これは、担当者が勘違いで伝票を削除したり、マスタを変更したときに、遡ってデータを復元したり確認することが必要になるからです。

バックアップはBATファイルを作成し、Windowsのタイムスケジューラで1時間おきに実行します。

Microsoft 365を利用していれば、クラウドに1TB のOneDriveを利用することができます

クラウドにバックアップすれば、何の不安もなく、システムを運用できます

私が開発したAccessのデータファイルは5年間の伝票データで、10から100Mbでした。

これ以上大きくなると、動きが鈍くなります。

そのような会社では、3年前までのデータは別なデータベースに分割して、軽くしています。

この容量ではバックアップのデータの総容量は3から30GBです

-------- プログラムのバックアップ---------

開発中はもちろんのこと、稼働してからも変更作業においても、プログラムのバックアップは必要です。

最新のプログラムのバックアップは当然ですが、一部を過去のプログラムに戻すこともあります。

間違えて、違うメニューを変更してしまうこともあります。

変更後にエラーが発覚し、前に戻すこともあります。

プログラムの変更中は１時間ごとに、データを含めてバックアップをします。

これもBATファイルを作成します。

自動で日付と時間の入ったフォルダーが作成され、そこにデータをプログラムが自動で保管されます。

-------- LAN関連の装置の保守---------

多くの会社では、LAN関連の機械装置は10年以上使われている場合が多いです

全面的に交換すると、データベースへのアクセスタイムは見違えるほど早くなることがあります。

NASを交換しても、ルーターやハブ、LANケーブルの交換を忘れることも多いです

少なくても、NASは5年ごとに、ルーターやハブ、LANケーブルは10年ごとに変えましょう

自分で交換すれば、全て変えても10万円以下で済むでしょう